

ワンニャン通信

2024
12月

担当: 中島



今月は中高齢期の暮らしの環境についてです。

環境整備で大切な3つのポイント(気をつけたいこと)→安全・快適・楽しい

中高齢期のワンちゃんネコちゃんは環境に慣れるのが遅いので、高齢になってからの引っ越しや、部屋の模様替えは控え、なるべく早めの環境整備を心がけましょう。

環境整備で気をつけたいこと



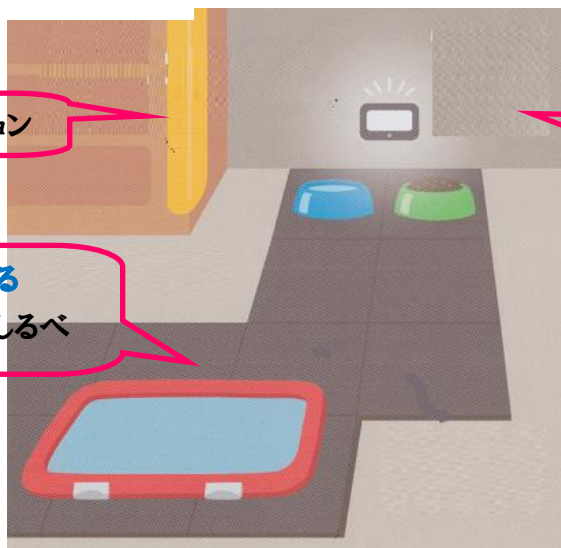
褥瘡(床ずれ)発生
ベットに配慮(高反発
素材など)

段差が危険
ステップを配置する

飲水
水は飲みたいときに飲める
ように複数個所用意する

粗相しやすくなる
トイレは行きやすい場所に、室内でのトイレトレーニング・
おむつの装着練習をする

眼が見えにくい場合のお部屋



家具の角にクッション

床材の素材を変える
ジョイントマットで道しるべ

視力の低下
見えにくい場合はトイレの横や
廊下に人感センサーライトを
設置する

模様替えは
しないでね!



隙間に入ると脱出が難しい
角・隙間をなくす工夫を！

床材

ループ状のカーペットは
爪が引っかかる可能性
があるので避ける

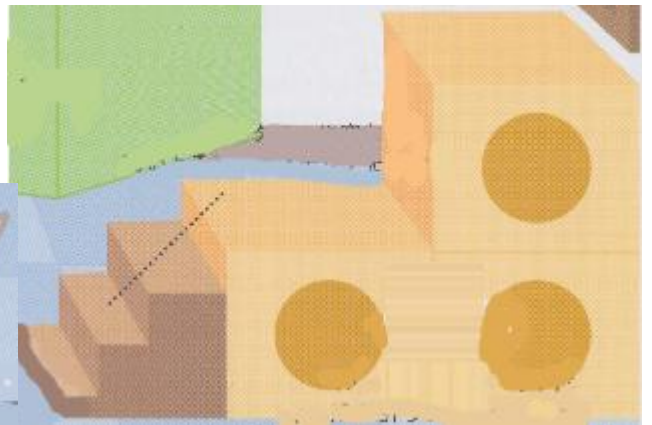
円形サークルなど、安全な
場所を確保する

床がすべって歩きにくい

すべりにくいマットを敷く、足裏の毛を刈る、
爪を適切な長さに切る(歩きにくくなるため)

のぼりおり

キャットタワーや窓など、
高いところにはステップ
をつける

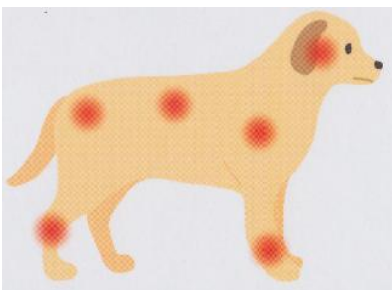


介護用マット

硬い床で寝かせることは避け、特に高反発素材のマットを使用
することで褥瘡（床ずれ）を予防しましょう

褥瘡（床ずれ）になりやすい部分

骨が出っ張り、圧がかかりやすい箇所に多く発生し
ます。毛に覆われた皮膚の色にも注意しましょう



姿勢を保持する工夫

寝たきりになってもクッションなどを使用し、時折四つ足で起立した姿勢を
とらせてあげましょう。体幹を使ってバランスをとることや、気分転換になる
ほか、意欲の向上につながることも！

